

令和7年雫石町議会9月定例会 一般質問通告一覧表

【No. 1】

発言順	通告議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	高橋 公史 議員	I 若手ハンターの育成と鳥獣被害対策の強化について	<p>全国でクマ被害が多発し、県内でも7月に死亡事故、以後も市街地での出没が続いている。町民の生命と安全を守るため、本町も迅速な対策が必要である。環境省は7月に緊急銃猟ガイドラインを公表、9月施行の改正鳥獣保護管理法により、市街地での銃使用は市町村の判断と責任による対応が求められることになった。こうした「現場判断」を支えるのは人材である。幸い若手ハンターの参入は心強い一方、免許取得後の継続育成や技術伝承、安全管理、捕獲後の処理・活用の仕組みが弱く、不安の声も多い。有事の指揮系統と実動体制の整備と併せ、若手が着実に成長し活躍できる環境整備を求められる。そこで以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 9月施行の改正鳥獣保護管理法および緊急銃猟ガイドラインに基づく、本町の有事対応体制と指揮命令系統の整備状況は。 クマ出没時に町民の安全を守るための避難指示・広報体制、安全対策の現状と今後の方針は。 本町で有害鳥獣駆除に実動可能なハンター数と、有事に備えた組織体制の現状と強化方針は。 若手ハンターが活動を継続し「育つ・活躍できる」町にするため、若手ハンターの現状把握方法と、資格取得後のフォローアップ支援や実践研修の制度化を含めた具体的な育成策を検討しているか。 環境省のガイドラインで示されたハンターへの日当支給や事故補償などを踏まえ、本町でも駆除協力金や報酬体系の見直し、待遇改善を検討する考えはあるか。 捕獲後のジビエ活用（観光、地域イベントなど）について、現状と課題をどのように捉えているか。 	【町長】

令和7年雫石町議会9月定例会 一般質問通告一覧表

【No. 2】

発言順	通告議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	高橋 公史 議員	Ⅱ 宿泊税の検討と本町の観光施策の方向性について	<p>観光の町、として本町がさらなる発展を遂げていくためには、豊かな自然、豊富な観光資源だけでなく、受入環境の充実やその財源確保が重要である。盛岡市では既に「宿泊税」の検討が進められており、全国的にも東京都、京都市、金沢市、福岡市など、多くの自治体で「宿泊税」が導入され、観光施策や受入環境の改善、さらには交通案内や景観保全、多言語対応など、多様な事業の財源となっている。本町が「観光の町」としての価値を高め、多様な観光客を受け入れるため、こうした「宿泊税」の検討・研究を行う意義は大きいと考える。そこで、以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 宿泊税の全国的な導入状況、成果や課題などの情報を、町としてどのように収集・検討しているのか、現状はどうか。 2 町の観光施策の現状、そして財源確保の重要性についての考えや方向性は。 3 宿泊税の導入を検討するとなれば、どのような規模や使途、方向性を想定しているのか、具体的な考えはあるのか。 4 宿泊税の検討・導入となれば、町民、観光事業者など、関係者の意見や声をどのように集約・合意形成して進めていくのか。 	【町長】

令和7年雫石町議会9月定例会 一般質問通告一覧表

【No. 3】

発言順	通告議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
2	畠山 操 議員	I 軽音楽 FESTIVAL in 雫石について	<p>第3回目となる音楽イベント「軽音楽FESTIVAL in雫石」が7月13日に行われた。そこで以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 来場者数500人とのことだが、このイベントについて町の評価は。 2 当日の最高気温は29.4度と真夏日寸前だったが、酷暑が問題になっているこの時期に行う理由は何か。 3 QRコードの読み取りによる来場者アンケートを実施していたが、回答数と集計結果は。 4 事業者の選定理由として、当町のアウトドア観光の現状に精通しているもので、かつ音楽に精通している者でなければ契約の目的を達成できない、というのは随意契約の理由にならないのでは。 	【町長】
		II 町中に出没するクマについて	<p>クマによる人的被害が話題になっている。そこで以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 7月10日午前6時30分頃に雫石診療所付近で目撃されたクマに対しての注意喚起の放送は、午前9時となっており時間が経過しすぎだったのではないか。 2 上記のクマの目撃情報は雫石中学校付近であり、通勤・通学の時間帯に近かったが、どのような安全対策をしたのか。 3 7月17日午前11時20分に出されたクマ出沒注意喚起の防災行政無線の放送は雫石地区のみであったが、ショッピングエリア付近の出沒だったので、買い物に向かう町民のためにもすべての地区に放送すべきだったのではないか。 4 クマが学校周辺に出沒した際、小中学校の登下校はどのような安全対策を行っているのか。 5 学校敷地内にクマが出沒した際にとる行動のマニュアルはあるのか。 6 教職員に対しクマよけスプレーを使用した訓練を行ってはどうか。 	<p>【町長】</p> <p>【教育長】</p>

令和7年雫石町議会9月定例会 一般質問通告一覧表

【No. 4】

発言順	通告議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
3	堂前 義信 議員	I クマの出没、農作物被害等対策の取り組みについて	<p>県内では、クマの市街地での出没や農作物等の被害について、連日のように新聞、テレビ等で報道されている。2023年8月には御明神地区で散歩中の高齢者2名がクマに襲われる被害が起きている。また本年7月には北上市内の民家で高齢女性が自宅でクマに襲われ死亡する被害が起きている。町内でも中心市街地でクマの出没情報が数回出されたが、捕獲に至っておらず、住民の不安や危険が解消されていない。そこで以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> クマの出没情報、農作物被害、人的被害の推移はどうか。 被害対策の状況と効果はどうなっているか。 人慣れして市街地に出没し危険な行動をとるクマが今後増えると予測されているが、住民の被害を未然に防ぐため、どのような対策を行っていくのか。 	【町長】
		II 公共施設の維持、更新等の取り組みについて	<p>人口減少の進展等による財源の減少や人件費等物価高騰により、公共施設の維持修繕や更新が今後さらに困難になっていくものと予想されている。本年1月には埼玉県八潮市の道路陥没事故が起き1名が亡くなっている。下水道の老朽化等が原因ではないかと考えられ、国は全国の流域下水道管理者に下水道管の緊急点検を要請している。このように、全国で公共施設の老朽化等による事故が起きている。そこで、以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 公共施設の点検や調査の状況はどうか。 公共施設の長期修繕計画等の策定状況はどうか。 物価高騰等の影響による長期修繕計画等の修正状況はどうか。 公共施設のライフサイクルコストと施設の有効活用の観点から、施設の解体撤去も検討しなければならない時期に来ていると思われるがどうか。 	【町長】
		III 町消防団の取り組みについて	<p>少子高齢化が進展するなか、住民の安心・安全のため地域防災の要である消防団を将来に渡り維持していくため、現在、雫石町消防団ビジョンを策定中である。そこで以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 消防団員数及び機能別消防団員数の推移と団員確保の取り組みはどうか。 消防団員及び機能別消防団員の待遇改善はどうなっているか。 消防団活動を支援する協力企業等の状況はどうか。 部及び屯所等施設の統廃合が計画されており、実施にあたっては地域の防災力減少等が懸念され、不安に感じる団員や住民がいると思うが、具体的にどのように進めていくのか。 	【町長】

令和7年雫石町議会9月定例会 一般質問通告一覧表

【No. 5】

発言順	通告議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
4	西田 征洋 議員	I 町の主要農畜産物への支援について	<p>町の主要農産物について生産への不安が大きいと聞いている。そこで以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コメの生産数量目標値について次年度の数量をいくらと見込んでいるか。 2 60kgあたりの価格の見込みは。 3 町独自の生産数量目標値設定の必要はないか。 4 畜産酪農家への支援策は策定したか。 	【町長】
		II ダイオキシン入りの有毒除草剤の撤去について	<ol style="list-style-type: none"> 1 この除草剤が埋設されていることにより、県道の道路拡張工事に影響を及ぼしたことを東北森林管理局にどう伝えたか。 2 今後どのような姿勢で撤去に向けた交渉をしていくか。 	【町長】
		III 主要な公共施設へのエアコン設置について	<ol style="list-style-type: none"> 1 主要な公共施設へのエアコン設置率はどうか。 2 夏場の猛暑対策として町の主要な公共施設へのエアコン設置の必要性をどう考えるか。 	【町長】

令和7年雫石町議会9月定例会 一般質問通告一覧表

【No. 6】

発言順	通告議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
5	杉澤 敏明 議員	I 本町の観光振興について	<p>町では、「第三次雫石町総合計画基本構想」に基づき、令和6年度から令和9年度までの「後期基本計画」を策定し、諸施策を推進している。この基本計画の実施計画と言うべき雫石町教育振興基本計画や雫石町保健福祉計画、雫石町農林業基本計画などの各部門別計画を作成し、これに基づき各種事業を進めているので、以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 観光の部門別計画である「第四次雫石町観光・交流活性化行動計画」をいまだに作っていない理由は何か。 2 現行の観光振興の中心は、アウトドアの体験型プログラムを核とする観光施策の推進をしているということか。 3 鶯宿温泉は、当町観光の中核であると思う。現在、この温泉地の要である鶯宿温泉開発株式会社が令和3年から令和7年までの5年間の経営改善中である。湧出量1,123リットルに対し、給湯数量は562.6リットル／分で半分ほどである。一方で給湯経費の中で、3カ所の源泉での電気料が多額となっているので、杉の根源泉一つに絞って給湯するようにすれば経費節減となり、経営改善になると思うがどうか。 	【町長】
		II 戸沢第一揚水機場第2ポンプ故障に対する町の対応について	戸沢第一揚水機場第2ポンプの故障により、水稻作付不能により被害を受けた農家（耕作者）に対し、大豆等畑作物を作付したことへの交付金交付の予定はどうなっているか。また、苗代等の損害に対し、町として援助してはどうか。	【町長】
		III 下水道事業・鶯宿幹線完成後の町整備計画の進捗状況について	<ol style="list-style-type: none"> 1 北上川上流流域下水道事業・鶯宿幹線の柵沢橋までの整備が完了し、供用開始されたが、町がこの幹線整備に連動して整備する計画の各処理分区の進捗状況はどうなっているのか。 2 令和8年度以降の施工計画は。 3 今年度から供用開始する処理分区はどこか。 	【町長】
		IV 参議院議員選挙の投票率について	<p>先の参議院議員岩手選挙区選挙における本町の投票率は、56.58%で県の投票率59.10%を下回った。また、期日前投票率は、20.81%で県内市町村で最低となっていたことから、以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 期日前投票率は、このところの国政選挙で、毎回最低が続いていたことから、この度の選挙では、最低は脱したいとしていたが、なぜできなかったのか。 2 この点について今後の選挙に向け、改善しようとしていることは何か。 	【選挙管理委員長】

令和7年雫石町議会9月定例会 一般質問通告一覧表

【No. 7】

発言順	通告議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
6	金子 一男 議員	I 農業振興の取り組みについて	<p>就農人口の減少や農業者の高齢化が進む中、原油価格、肥料、飼料代などの高騰、さらには温暖化による高温障害や水不足など、町の農業者も窮地に立たされている状況である。そこで以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 所有者が町外の方で入り作されてきた水田が、高齢化等により維持していくのが困難となる場合がある。遊休農地を解消できない原因の一つとも考えられるが、取り組みはどうか。 2 所有者の所在不明により遊休農地解消への取り組みに同意を得られない状況に対し、どう対処しているか。 3 遊休農地と判断された農地の所有者に対しては、農地の利用意向調査を行ったうえで、自らが耕作し適正に管理する、あるいは第三者に耕作を依頼するなどの指導を行っていると思うが、遊休農地解消に結びついていないと感じる。どう捉えているか。 4 町地域農業再生協議会では水田活用の直接支払交付金制度により転作田での高収益作物生産への支援をしているが、今後はどう取り組むか。 5 新たに農地集積や大規模圃場整備などに取り組むために、地域の合意形成が必要と捉えている。合意に向け維持管理費などを含む農家の自己負担割合について、丁寧な説明と支援が必要と考えるがどうか。 6 降雨により現在は解消されたが、御所湖の貯水率がゼロパーセントになるなど各地で温暖化による高温障害や水不足などが報道されている。今後も異常気象により同様な事象が想定されるが、対策や支援はどうか。 	【町長】

令和7年雫石町議会9月定例会 一般質問通告一覧表

【No. 8】

発言順	通告議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
7	岩持 清美 議員	I 農業について	<p>コメをはじめとする農業を取り巻く環境は大きく変わろうとしている。特に自然環境において、かつて経験したことがない高温と少雨であり、農業のあり方の変化もあり得る。またコメ不足と言われ政府は備蓄米の放出などを行い、今後コメ増産に転換すると表明したが、多くの課題が山積する。</p> <p>また、10年後の水田を誰が作付けするかを目標とする地域計画が実施される大変革が待っている。そこで以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今年度水田活用の直接支払交付金制度における変更点はあるか。 2 2027年度からコメの増産を目指すと言ったが、予想される変更点はあるか。 3 戸沢第一揚水機場第2ポンプについて、今後どうなるか。 4 今年の少雨と高温の影響により、コメ、野菜、特産品、家畜等に被害はないか。 5 土地改良区が行った番水等の対策はいつから実施し何河川あるか。 6 今年の少雨と高温における被害や災害に対し、町が行った対策はあるか。 7 地域計画における担い手となる法人、組織、個人はいくらか。 8 担い手に対する今後の支援はどうなるか。 9 担い手と認められない農業者に対してどのように対応するか。 10 水稻以外の作目の今後の方向はどうなるか。 	【町長】